



平成 30 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス
 代表者名 代表取締役兼最高管理責任者 長倉 統己
 (コード：3647 東証第二部)
 問合せ先 管理部マネージャー 佐藤 一樹
 (TEL：03-5781-2522)

平成 30 年 8 月期 第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 10 月 13 日に公表いたしました平成 30 年 8 月期第 2 四半期累計期間の個別業績予想及び連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 平成 30 年 8 月期第 2 四半期連結累計期間 連結業績予想と実績値との差異 (平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,410	百万円 247	百万円 187	百万円 122	円 銭 1.79
実績値 (B)	1,259	225	157	99	1.44
増減額 (B - A)	△151	△22	△30	△23	—
増減率 (%)	△10.7	△8.9	△16.0	△18.9	—
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 8 月期第 2 四半期)	1,026	67	70	36	0.55

2. 平成 30 年 8 月期第 2 四半期累計期間 個別業績予想と実績値との差異 (平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 646	百万円 207	百万円 134	円 銭 1.96
実績値 (B)	603	247	196	2.85
増減額 (B - A)	△43	40	62	—
増減率 (%)	△6.7	19.3	46.3	—
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 8 月期第 2 四半期)	229	130	108	1.61

3. 差異が生じた理由

① 連結業績

平成30年8月期第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、当社、株式会社エコ・ボンズ、及び株式会社エコ・テクノサービスによる環境関連事業においては、降雪等の影響から売電収入が見込みより減少するも、太陽光発電所及び太陽光発電商材の売却収入が見込みより増加したことから、環境関連事業の売上高は921百万円と、計画を上回り推移しております。

なお、本日付「当社子会社による太陽光発電所用地の売却に関するお知らせ」にて公表のとおり、当第2四半期での収益計上を見込んでいた営業取引案件について、行政手続の関係から、当第3四半期での収益計上（売上高160百万円）を行う予定としております。

一方、株式会社SBYによるSBY事業においては、コンセプトマーケティングショップ事業としての渋谷店の売上は堅調に推移するも、地方店の売上が見込みより減少するとともに、ビジネスアライアンス事業としてのロイヤリティから直接販売への切り替えによる収益計上時期は、当第3四半期以降となることから、SBY事業の売上高は338百万円と、計画を下回り推移しております。

このため、連結売上高につきましては、環境関連事業が増収となったことから、SBY事業の減収を踏まえても、前年同四半期比では22.7%増（232百万円増収）と大幅に増加いたしました。環境関連事業の営業取引案件の収益計上時期の期ずれにより、前回発表予想からは10.7%減（151百万円減収）と減少いたしました。

連結営業利益につきましては、連結売上高の増加により、前年同四半期比では233.3%増（157百万円増益）と大幅に増加いたしました。SBY事業における滞留在庫20百万円相当の処分による原価の追加計上に伴い、前回発表予想からは8.9%減（22百万円減益）と減少いたしました。

連結経常利益につきましては、連結営業利益の増加により、前年同四半期比では122.4%増（86百万円増益）と大幅に増加いたしました。太陽光発電所に係る割賦取引を含め、金融機関からの積極的な資金調達を行ったことによる支払利息が増加したことにより、前回発表予想からは16.0%減（30百万円減益）と減少いたしました。

親会社に帰属する四半期純利益につきましては、連結経常利益の増加に伴い、前年同四半期比では169.7%増（62百万円増益）と大幅に増加いたしました。前回発表予想からは18.9%減（23百万円減益）と減少いたしました。

② 個別業績

平成30年8月期第2四半期個別累計期間の個別売上高につきましては、環境関連事業においては、太陽光発電所の売却収入による売上が増加したことから、前年同四半期比では162.9%増（374百万円増収）と大幅に増加いたしました。降雪等の影響から売電収入が見込みより減少したことにより、前回発表予想からは6.7%減（43百万円減収）と減少いたしました。

経常利益につきましては、売電収入が減少したものの、太陽光発電所の売却益が計画より増加したことから、前年同四半期比では89.2%増（116百万円増益）と大幅に増加し、前回発表予想からも19.3%増（40百万円増益）と増加いたしました。

四半期純利益につきましては、経常利益の増加に加えて、税金費用が予定額を下回ったことから、前年同四半期比では81.5%増（88百万円増益）と大幅に増加し、前回発表予想からも46.3%増（62百万円増益）と増加いたしました。

4. 通期業績予想について

平成 29 年 10 月 13 日に公表しております平成 30 年 8 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想に比較して、連結売上高で 151 百万円、連結営業利益で 22 百万円、連結経常利益で 30 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で 23 百万円、それぞれ減少しておりますが、環境関連事業における当第 3 四半期への収益計上時期の期ずれが、売上高で 160 百万円あることから、連結業績においては、通期の進捗状況を踏まえ、当初計画通りに推移しているものと判断しております。

また、株式会社 Green Micro Factory により、平成 30 年 4 月 28 日に「MAGNET by SHIBUYA109」にてオープンする FATBURGER 日本一号店は、当初計画通り、当第 3 四半期から業績に寄与いたします。

このため、通期の業績予想につきましては、現時点においては、連結・個別ともに平成 29 年 10 月 13 日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

※上記に記載した業績の見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

（ご参考）

当期連結業績予想（平成 29 年 10 月 13 日公表分）及び前期連結実績（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 （平成 30 年 8 月期）	7,557	1,142	1,000	650
前期連結実績 （平成 29 年 8 月期）	3,730	806	750	493

当期個別業績予想（平成 29 年 10 月 13 日公表分）及び前期実績（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
当期個別業績予想 （平成 30 年 8 月期）	2,490	598	389
前期個別実績 （平成 29 年 8 月期）	1,359	645	462